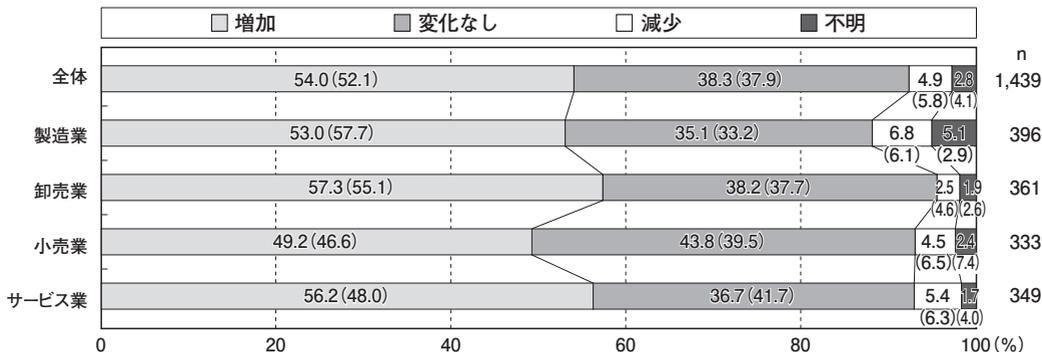


事業活動におけるコストの変動

1. コストの変化（前年同月比）

前年同月と比較した2024年（令和6年）4月の生産や販売、サービス提供に要するコストの変化を全体でみると、「増加」が54.0%（前回調査 52.1%）と最も高く、「変化なし」が38.3%（同37.9%）、「減少」が4.9%（同5.8%）の順で続いた。

図表10 コストの変化（前年同月比）



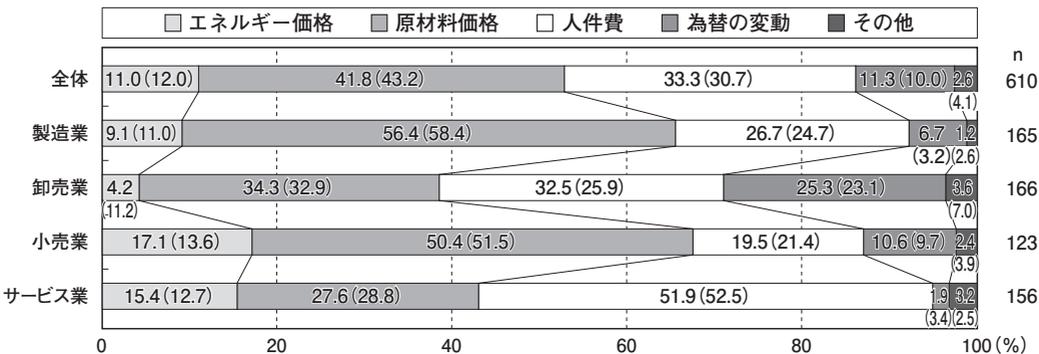
注) 無回答を除き集計。()内は前回調査（令和6年4月）の数値。
四捨五入のため合計が100%にならない場合がある

2. コスト増加の最大の要因

生産や販売、サービス提供に要するコスト増加の最大の要因を全体でみると、「原材料価格」が41.8%（前回調査 43.2%）と最も高く、「人件費」が33.3%（同30.7%）、「為替の変動」が11.3%（同10.0%）、「エネルギー価格」が11.0%（同12.0%）の順で続いた。

業種別にみると、製造業は「原材料価格」が56.4%（同58.4%）と最も高い。他の業種に比べて卸売業は「為替の変動」の25.3%（同23.1%）、小売業は「エネルギー価格」の17.1%（同13.6%）、サービス業は「人件費」の51.9%（同52.5%）がそれぞれ高い。

図表11 コスト増加の最大の要因



注) コストの変化（前年同月比）（図表10）で「増加」と回答した企業のうち無回答等を除き集計。
()内は前回調査（令和6年4月）の数値。四捨五入のため合計が100%にならない場合がある。